



安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品の名称	: エンドックス
供給者の会社名称	: バイエルクロップサイエンス株式会社
住所	: 東京都千代田区丸の内 1-6-5
担当部門	: 生産本部
電話番号	: 03-6266-7419
ファクシミリ番号	: 03-5219-9735
整理番号	: 102000014193
推奨用途	: 殺そ剤
使用上の制限	: 推奨用途以外には使用しないで下さい

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	
分類実施日	: 2022. 4. 19、JIS Z 7253/GHS分類マニュアル（改訂6版）を使用
健康に対する有害性	: 急性毒性（経口） 区分4 生殖細胞変異原性 区分2 発がん性 区分1A 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(呼吸器系、免疫系、腎臓)
環境に対する有害性	: 水生環境有害性 長期（慢性） 区分2

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: 飲み込むと有害 遺伝性疾患のおそれの疑い 発がんのおそれ 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系、免疫系、腎臓の障害 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

取扱い後は、手や顔をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。
粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレー を吸入しないこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること。口をすすぐこと。
ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診察 / 手当てを受けること。
気分が悪い時は医師の診察 / 手当てを受けること。
漏出物を回収すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。



3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物
化学名又は一般名	: 3-(α -テトラリル)-4-ヒドロキシクマリン (一般名: クマテトラリル)
成分及び濃度又は濃度範囲	: 0.75 % (他はクレール等)
官報公示整理番号(安衛法)	: -
CAS RN	: 5836-29-3

4. 応急措置

吸入した場合	: 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。多量の水、温水またはうがい薬を用いてうがいをさせ医師の手当てを受ける。吸入した場合、活性成分の抗ビタミンKの特性によって、血液凝固を阻害され出血を引き起こす可能性がある。
皮膚に付着した場合	: 直ちに水で洗い流した後、石鹼でよく洗う。洗浄後、皮膚に異常がある場合は医師の手当てを受ける。衣服類は汚染物を洗い落として着用する。
眼に入った場合	: 清浄な水で15分以上洗眼すること。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	: 意識のある場合は吐き出させ直ちに医師の手当てを受ける。吐き出すことが困難な場合は無理に吐き出させようとはならない。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水、粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、砂など
使ってはならない消火剤	: データなし
火災時の特有の危険有害性	: 燃焼時には有毒ガス発生のおそれがある。
消火活動を行う者の保護具及び予防措置	: 消火作業の際には呼吸装置を着用して、消火剤で消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 処理作業の際には保護具を着用し、直接触れないように注意して作業する。
環境に対する注意事項	: 漏出した物質が河川、湖沼、海域及び養殖池、植栽地、畑作地に飛散、流入しないよう注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 床面などにこぼれた場合は直ちに掃きとり密閉容器に収納する。
二次災害の防止策	: 飛散した場所の周辺にはロープを張るなどして、人の立ち入りを禁止する。風下では作業しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気	: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行うこと。
安全取扱注意事項	: ラベルを良く読むこと 吸い込んだり目や皮膚に触れないよう長袖の作業衣、保護メガネ、不浸透性手袋、農薬用マスクを着用して、できるだけ風上から作業するようにする。作業後は手足、顔等を石鹼でよく洗い、うがいをすると共に衣服を交換する。
接触回避	: 「10. 安定性及び反応性」を参照。
保管	
技術的対策	: 特別に技術的対策は必要としない。
混触禁止物質	: 「10. 安定性及び反応性」を参照。



- 安全な保管条件 : 容器を密閉し直射日光を避け、食品と区別して換気の良い場所で保管する。
- 安全な容器包装材料 : データなし

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	成分	管理濃度	更新日	基準
	クマテトラリル	0.01 mg/m ³ (TWA)		OES BCS*
	石英 (吸入性粉じん)	0.03 mg/m ³ (CEILING)	04 2007	JP JSOH OEL
	デンプン (総粉じん)	8 mg/m ³ (TWA)	09 2015	JP JSOH OEL
	デンプン (吸入性粉じん)	2 mg/m ³ (TWA)	09 2015	JP JSOH OEL
	二酸化チタン (アナーゼ [®] 型) (総粉じん)	4 mg/m ³ (TWA)	05 2020	JP JSOH OEL
	二酸化チタン (アナーゼ [®] 型) (吸入性粉じん)	1 mg/m ³ (TWA)	05 2020	JP JSOH OEL
	二酸化チタン (アナーゼ [®] 型) (粉じん)	0.025 mg/m ³ (TLV)	04 2020	JP ISHL OEL
	二酸化チタン (アナーゼ [®] 型) (吸入性粉じん)	1 mg/m ³ (TWA)	05 2020	JP JSOH OEL
	二酸化チタン (アナーゼ [®] 型) (総粉じん)	4 mg/m ³ (TWA)	05 2020	JP JSOH OEL
	二酸化チタン (アナーゼ [®] 型)	0.3 mg/m ³ (TWA)	05 2020	JP JSOH OEL

*OES BCS: Bayer AG クロップサイエンス部門内 "Occupational Exposure Standard"

- 設備対策 : 局所排気装置の設置、設備の密閉化、または、全体換気を適正に行うことが望ましい。

保護具

- 呼吸器の保護具 : 欧州規格 EN149FFP1 又は同等規格に適合する粒子フィルターマスク付き (保護係数 4) の呼吸用保護具
- 手の保護具 : 不浸透性手袋
- 眼、顔面の保護具 : 保護メガネ
- 皮膚及び体の保護具 : 定められた作業衣、安全靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状態 : 粉末
- 色 : 淡青色
- 臭い : 無臭
- 融点/凝固点 : データなし
- 沸点又は初留点及び沸騰範囲 : データなし
- 可燃性 : データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし
- 引火点 : データなし
- 自然発火点 : データなし
- 分解温度 : データなし
- pH : データなし
- 動粘性率 : データなし
- 溶解度 : データなし
- n-オクタノール/水分配係数 : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 密度及び/又は相対密度 : データなし
- 相対ガス密度 : データなし
- 粒子特性 : データなし



10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常の取扱い条件において安定
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 極端な温度と直射日光
混触危険物質	: 他の容器に移し替えて保管しないこと。
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性	: 経口 LD ₅₀ (ラット) 1180 mg/kg 経皮 LD ₅₀ (ラット) > 2000mg/kg 吸入(粉じん) データがないため、分類できないとした。
皮膚腐食性/刺激性	: 皮膚刺激性なし (ウサギ)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 眼刺激性なし (ウサギ)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 呼吸器感作性: データがないため、分類できないとした。 皮膚感作性: 感作性なし (モルモット)
生殖細胞変異原性	: 区分2の成分を濃度限界1.0%以上含有しているため、区分2とした。
発がん性	: 区分1Aの成分を濃度限界0.1%以上含有しているため、区分1Aとした。
生殖毒性	: データがないため、分類できないとした。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データがないため、分類できないとした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分1(呼吸器系、免疫系、腎臓)の成分を濃度限界10.0%以上含有しているため、区分1(呼吸器系、免疫系、腎臓)とした。
誤えん有害性	: 入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。

12. 環境影響情報

生態毒性	
水産動植物に対する影響	: LC ₅₀ (ニジマス) 53 mg/L(96h) 有効成分クマテトラリルによる値 LC ₅₀ (ケツギ) 約 1000 mg/L(96h) 有効成分クマテトラリルによる値 NOEC(ニジマス) 5 µg/L(21d) 有効成分クマテトラリルによる値 EC ₅₀ (オミジノコ) > 14 mg/L(48h) 有効成分クマテトラリルによる値 NOEC(オミジノコ) 0.1 mg/L(21d) 有効成分クマテトラリルによる値 EC ₅₀ (藻類) > 18 mg/L(72h) 有効成分クマテトラリルによる値 NOEC(藻類) 5.6 mg/L(72h) 有効成分クマテトラリルによる値
残留性・分解性	: クマテトラリル: 易分解性ではない
生体蓄積性	: クマテトラリル: BCF 11.4 生物濃縮なし
土壤中の移動性	: クマテトラリル: 中程度
オゾン層への有害性	: データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等産業廃棄物に関する法律、都道府県および市町村の関連条例に従って処理すること。



14. 輸送上の注意

国際規制	:			
海上規制情報	:	IMO の規制に従う。		
航空規制情報	:	ICAO/IATA の規制に従う。		
	:	RID	IMDG	IATA
国連番号	:	3077	3077	3077
国連分類	:	9	9	9
容器等級	:	III	III	III
海洋汚染物質	:	該当する		
国内規制	:			
陸上規制情報	:	該当しない		
海上規制情報	:	船舶安全法の規制に従う。		
航空規制情報	:	航空法の規制に従う。		
応急措置指針番号	:	171		
特別安全対策	:	包装、容器が破損しないように水濡れや乱暴な取扱いを避ける。		

15. 適用法令

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律	:	医薬部外品
消防法	:	該当しない
労働安全衛生法	:	名称等を表示すべき危険物及び有害物 シリカ $\geq 88.8\%$ 名称等を通知すべき危険物及び有害物 シリカ $\geq 88.8\%$ 酸化チタン (IV) $< 0.5\%$ 銅及びその化合物 0.1%
毒物及び劇物取締法	:	該当しない
化学物質管理促進法 (PRTR)	:	該当しない

16. その他の情報

1. 本資料の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、記載内容は新しい知見により改訂されることがあります。
2. 記載の注意事項は通常の実施を前提とした参考情報です。取扱いの際は用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。
3. 本資料は情報提供の目的のために作成されたものであり、その記載内容を保証するものではありません。

中毒の緊急問い合わせ先 : 公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民向け相談電話 (情報提供料:無料)	医療機関専用有料電話 (情報提供料:一件2,000円)
大阪 (365日、24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日、9時~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999